

|     |      |       |       |
|-----|------|-------|-------|
| 科目名 | 卒業研究 | 科目コード | 21070 |
|-----|------|-------|-------|

|          |                                   |
|----------|-----------------------------------|
| 学科名・学年   | 電気工学科・5年（プログラム2年）                 |
| 担当教員     | 全教員（電気電子システム工学科）                  |
| 区分・単位数   | 履修単位科目・必修・8単位                     |
| 開講時期・時間数 | 通年，240時間【内訳：講義0，演習0，実験0，その他240】   |
| 教科書      |                                   |
| 補助教材     | 必要に応じて指導教員から資料が配付されるか，参考文献が提示される。 |
| 参考書      |                                   |

### 【A．科目の概要と関連性】

多くの場合、指導教官が取り組んでいる研究課題に関連した課題が与えられ、研究グループに参加して分担する研究を行う。研究指導はそれぞれの研究室独自の方法が採られるが、一般には最初に研究に関連する基礎知識を勉強するための専門書や、研究論文をグループで輪講し、実験設備の使用法を修得した後、文献調査や実験を行う。定期的に研究室のゼミが開かれ、調査や実験の経過を報告しディスカッションを行う。何らかの研究成果が得られた場合には学会に出席して自分で発表することがある。

### 【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(B,E,F,G)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

| 到達目標   | 評価の重み | 学習・教育目標との関連              |
|--|-------|--------------------------|
| 学んだ知識と勉強の仕方を応用し、課題を解決する経験をえることにより、社会に出てから自分の力で問題解決を行える能力を養う。 | 70%   | E1,E2,E3,<br>F2,G1,G2,G3 |
| 自分の考えを正しく伝えるための文章の書き方、多数の人々に正しく理解して貰うための発表能力を体得する。           | 30%   | B1,B2,B3                 |

### 【C．履修上の注意】

研究は教官に言われてやるものではない。自分で主体的に研究に取り組むことが大切である。

### 【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

定期試験（0%）

その他の試験（0%）

レポート（0%）

その他（100%）【内訳：研究への取り組みと報告書(70%)，卒業研究発表会の内容(30%)】

【E. 授業計画・内容】

| 月  | 内容                  | 備考 |
|----|---------------------|----|
| 4  | 研究計画の立案, 調査, ゼミナール  |    |
| 5  | 研究計画の立案, 調査, ゼミナール  |    |
| 6  | 資料収集, 実験, 調査, ゼミナール |    |
| 7  | 資料収集, 実験, 調査, ゼミナール |    |
| 8  | 実験, 調査, ゼミナール       |    |
| 9  | 実験, 調査              |    |
| 10 | 中間発表会, 実験, 調査       |    |
| 11 | 実験, 調査              |    |
| 12 | 実験, 調査              |    |
| 1  | 論文準備                |    |
| 2  | 発表会, 論文提出           |    |